

白井敬尚『組版造形 タイポグラフィ名作精選』（グラフィック社）
刊行記念トークショー&即売会

「タイポグラフィ——紙面に宿る造形と美」

白井敬尚（グラフィックデザイナー）×室賀清徳（編集者、グラフィック社）

古今東西の名作組版を精選して分析・言語化する、白井敬尚さんの著書『組版造形 タイポグラフィ名作精選』（グラフィック社）が3月に上梓されました。歴史上の数多くのデザイナーたちは、どのようにして紙面における特有の造形に辿り着いたのか。そこに用いられた技術、込められた感性や精神とは。書籍の内容や出版の動機、制作の過程について、著者の白井さんと、編集者の室賀さんに対談いただきます。

出演：白井敬尚、室賀清徳

進行：櫻井拓（のほ本）

日時：2024年4月27日（土）16時～（15:30開場）

白井敬尚×室賀清徳トーク（80分）

休憩（10分）

会場との対話、質疑応答（30分）

終了後サイン会

会場：MEDIA SHOP gallery

604-8031 京都市中京区河原町三条下る一筋目東入る大黒町44 VOXビル1F

入場料：一般1500円 / 学生1000円

MEDIA SHOPにて『組版造形 タイポグラフィ名作精選』をご購入のお客様は
入場料を500円引きとさせていただきます。

定員：30名

要予約：お申込みはメールにて受け付けております。お名前、人数、お電話番号を明記のうえお申し込みください。

mediashop@media-shop.co.jp（担当：齋藤）

主催：MEDIA SHOP、大西正一、櫻井拓

協力：グラフィック社

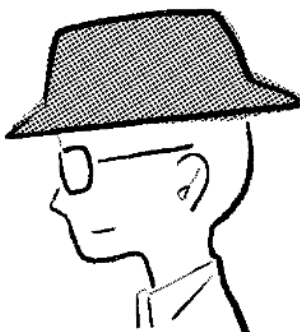
白井敬尚（しらい・よしひさ）



グラフィックデザイナー。1961年愛知県豊橋市生まれ。株式会社グレイス（宮崎利一チーム 1981-87年）、株式会社正方形（清原悦志主宰 1987-98年）を経て、1998年白井敬尚形成事務所を設立。ブックデザイン、エディトリアルデザイン、展覧会周知物など、タイポグラフィを軸としたデザインに従事している。

おもな仕事にヤン・チヒョルト『書物と活字』（朗文堂、1998年）、ggg『EXHIBITIONS』（大日本印刷ICC本部、2007年）、『横尾忠則全装幀集』（パイインターナショナル、2013年）、ggg『ヤン・チヒョルト展』（DNP文化振興財団、2013年）、印刷博物館『ヴァチカン教皇庁図書館展』Vol. 1（2002年）、同Vol. 2（2015年、ともに凸版印刷）がある。2005年より10年にわたりデザイン誌『アイデア』（誠文堂新光社）のアートディレクションとデザインを担当した。

おもな展覧会にギンザ・グラフィック・ギャラリー第362回企画展／京都dddギャラリー第219回企画展『組版造形 白井敬尚』（2017年、2019年）。2011年よりミームデザイン学校講師。2012年より武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授。



室賀清徳（むろが・きよのり）

1975年新潟県生まれ。グラフィックデザインやタイポグラフィなどに関連する企画の編集、評論、翻訳、教育活動にかかわっている。『The Graphic Design Review』（JAGDA）編集長。東京藝術大学非常勤講師、ミームデザイン学校講師。前『アイデア』編集長（1999-2018年）。

画：北村みなみ